

くめじま

2018 4 月号 NO.193

おまっちゃん、おいしいなあ〜♪



TOPICS

- 平成30年施政方針
- 離島割引運賃 フェリー片道も対象に!
- くめスポ バスケット交流会、ホテルカップほか

人口の推移

平成30年2月末現在

- 男 4,230人
- 女 3,745人
- 計 7,975人
- 世帯 3,986世帯

夢と希望を胸に 旅だち

3月1日、久米島高校で卒業式が行われ、63名の生徒が旅立ちました。

校門や体育館前などには園芸科の後輩たちが制作したオブジェ、体育館ステージには在校生がちぎり絵で制作した壁画が設置されました。

卒業生のほとんどが、進学・就職と島を離れ、新たな舞台へと立ちます。久米島出身という誇りを胸に、それぞれの夢に向かって羽ばたいてほしい。

ロクディムジャパントアープロジェクト in 久米島 4月15日

久米島応援隊

平田理

ロクディム渡

脚本や台本を用意せず「即興」で「芝居」をする即興芝居×即興コメディパフォーマンスを中心に活動するロクディム。そのロクディムのジャパントアープロジェクトが久米島でも開催されます。ゲストには、NHK朝ドラ「純と愛」「あさが来た」「ひよっこ」などに出演し舞台やラジオDJとしても活躍する字真謝出身の俳優平田理(おさむ)がゲスト出演します。

期 日: 4月15日(日曜日)
 時 間: 昼公演14:30開場/15:00開演
 夜公演18:30開場/19:00開演
 会 場: イーフ情報プラザ
 チケット: 大人2,000円/学生(中高大専門)1,500円
 小人(3歳~小学生)1,000円
 お問い合わせ: 久米島町青年団協議会 ☎985-7127(役場事務課内 前原)

からだの痛み・悩みを 自宅で解消!

健康保険証がご利用できます

ご自宅まで往診します

肩や腰の痛み
 なかなかとれない方

高齢や障害、そのほかの原因で
 外出が困難

75歳以上のご高齢者
 からだに障がいのある方

治療内容 リハビリ、機能訓練、はり、お灸、マッサージ

琉球治療院 久米島店

詳しくはwebを検索! 琉球治療院 検索

お気軽にお問い合わせください【営業時間 9:00~18:00】
 TEL.098-985-5070

平成30年度 施政方針



3月8日、久米島町議会定例会において大田町長による平成30年度の施政方針演説が行われました。施政方針の全文を紹介します。

はじめに

町民の声に真摯に向き合い行政運営を進めてまいりましたが、今年度も第2次総合計

画の将来像「夢つむぐ島」・島人みんなで織り上げる未来の実現に向け、様々な施策をスピード感を持って進めてまいります。

さて、国の経済状況は、長く続いたデフレからの脱却を目指し、経済の再生を最優先課題と位置づけ、「二億総活躍社会」の実現を目指し、大胆な金融施策、機動的な財政政策、民間投資を喚起する成長戦略を柱とする経済財政政策を推進した結果、雇用・所得環境の改善傾向が続いていますが、その効果が地方に及んでいるかと言えば、その実感は薄く、地方の経済環境は厳しい状況であります。国はさらに「新・三本の矢」を放ち、少子高齢化という構造問題に真正面から立ち向かい、成長と分配の好循環の実現に向け取り組んでいます。



沖縄の経済については、観光客数が4年連続で過去最高を更新するとともに、情報通信関連企業の立地も順調に推移し、県内総生産及び一人当たりの県民所得が増加するなど着実に成長を続けております。また、経済規模の拡大に伴い、就業者数も増加基調で推移しており、完全失業率が23年ぶりに失業率4%台に改善し、有効求人倍率も復帰後の最高水準を維持するなど雇用情勢においても実感できる形で現れております。

平成30年という節目の年を迎え、「沖縄21世紀ビジョン」の実現に向けての取り組みを一層推進する年となります。那覇空港の整備促進をはじめ、空港・港湾の物流強化、クルーズ船の受入体制の強化、観光振興に資する大型MICE施設の整備、全ての人が安心して豊かに暮らす事が出来る社会の実現に向けて、地域医療の充実、子どもの貧困、待機児童への対応など、医

療・福祉の充実にも力を入れていきます。

このような状況下、本町においては昨年度に引き続き「まち・ひと・しごと創生総合戦略」等に基づいた各種事業を推進します。特にしごとづくり戦略のひとつである海洋深層水などの自然資源を活用したまちづくり「久米島モデル」実現に向けて政策参与を配置するなど推進体制の強化を図るとともに産・学・官で構成する「国際海洋資源・エネルギー活用推進コンソーシアム」と密接に連携して同モデルに対する国内外の理解を深めることを目的に関連する国際会議等の誘致を推進します。

また、このような取り組みを国内外に発信することにより、島の持続可能性を高めるとともに、国際社会が共通の目標として掲げる「持続可能な開発目標 エス・ディー・ジーズ(SDGs)」の達成にも貢献することが出来ます。久米

島の地域に根ざした取り組みと、国際社会の目標とをつなぐことで、久米島の子もたちも世界に向けて視野を広げられると考えています。

これまでの概念にとらわれることなく、柔軟な発想と向上心をもって、その持てる能力を最大限に発揮し、行政運営に力を注いでまいります。昨年発生した元職員による横領事件については改めてお詫び申し上げますとともに、このような事件が発生しないよう事務執行体制を強化し、職員一丸となって再発防止に取り組みでまいります。

以上の基本的な方針に基づき、平成30年度に実施する施策についてその骨子を申し述べてまいります。

総合計画の推進

久米島町第2次総合計画の将来像「夢つむぐ島」の実現に向けて子育て環境の充実や新たな雇用の創出など早急な対応策が望まれ、町民の皆

産業の振興

■農業の振興

農業については、農業従事者の高齢化に伴い、さとうきび等で担い手不足の問題など経営が大変厳しい状況にあります。現状を打開するためには、国の農業政策である青年就農給付金事業の活用により、担い手育成を積極的に進めます。

農地中間管理事業により、担い手に農地集積を進めていくと同時に栽培技術や経営能力の向上など、関係機関との連携強化を図りながら課題解決に取り組みます。また、地域で生産された農林水産物を加工し、付加価値を付けて販売する6次産業化に積極的に取り組み地域の活性化に努めます。

次に個別施策について申し上げます。

●**さとうきび** 「さとうきび農業機械等リース支援事業」によりハーベスター及び株出

管理作業機械を導入し、刈り取りから肥培管理の機械化を推進します。

さらに「さとうきび優良種苗安定確保事業」により、優良種苗の確保及び農家への普及を図ります。

また、さとうきび振興協議会の支援、干ばつ・灌水対策事業、さとうきび共済掛金助成事業及びさとうきび病害虫総合防除対策事業等によりさとうきびの振興を図ります。

●**甘しょ** 沖縄県から拠点産地の認定を受け生産拡大につながっております。加工施設の稼働により、甘しょの更なる生産振興を図るとともに「甘しょ優良種苗普及事業」により優良種苗を確保し、農家への普及と生産拡大を図ります。また、イモゾウムシの早期根絶を目指して薬剤の助成を行います。

●**花卉** 沖縄県花卉園芸農業協同組合と連携し、「産地パワーアップ事業・災害に強い栽培施設事業」等の導入によ

り生産振興を図ります。

●**野菜** 新たにかぼちゃの生産出荷が伸びてきており、今後沖縄県の拠点産地認定に向けて生産者を取り組んでおりますので、久米島町かぼちゃ産地協議会を中心に生産振興を図ります。

●**畜産** 全国的に肉用牛取引価格の上昇が続ぎ、生産意欲が高まっています。前年度に引き続き沖縄県の「畜産担い手育成事業」により畜舎、草地等の整備を図り、母牛の増頭に取り組むとともに「優良雌牛導入事業」により母牛の増頭及び品質向上に取り組みます。

町単独事業としては「繁殖雌牛共済掛金助成事業」「優良雌牛自家保留支援事業」などにより、引き続きJA及び生産者と一体となって畜産振興を図ります。

●**水産業の振興** 浮漁礁整備事業により中層浮漁礁の整備を図るとともに水産加工処理施設や海

業支援施設を活用し、マグロやモズク及び車エビを中心とした水産物の加工品を生産・販売することで、漁業従事者の経営安定と所得向上に取り組めます。さらに、観光産業と連携を強化し相乗効果を創出していくことで水産業の活性化を図ります。

■商工業の振興

本町の商工業は、経営者の高齢化やインターネット通販など島内の経済状況が変化の中で商業を取り巻く環境は厳しさを増していることから、久米島商工会と連携を図りながら産業魅力化事業、久米島特産品販路開拓事業により、企業力を高める人材育成並びに製造業の活性化、外販の拡大に取り組めます。

また、有望な地域資源である海洋深層水の新たな事業展開においては、久米島海洋深層水協議会との連携を取りながら関連商品及びサービスのブランド育成・強化を図ります。

様が将来にわたり久米島町で暮らしていただけるという安心感を持つていただけるようなまちづくりが求められており、その実現に向け取り組んでいきます。

移住定住推進においては、相談業務や情報の発信に加えて、事業継承や起業を検討している町民の方々と、事業パートナーとなる移住希望者をマッチングする「共創移住」という新たな取り組みにより、事業継承や起業のニーズの掘り起しに努めます。また、子どもたちの交流拠点となる「風の帰る森」プロジェクトの推進で交流人口の拡大を目指します。

総合計画の実現に向けて様々な課題に対応していくためには官民協働のまちづくりを行い、それぞれが「自分ごと」として捉え、既存組織の枠を超え今一歩踏み込んだ取り組みが促進されるよう引き続き推進体制の充実を図ります。

久米島紬の振興については、久米島紬事業協同組合と連携しながら、久米島紬の伝統的な技法を継承する後継者の育成をはじめ、国指定重要無形文化財のブランドの維持や消費者ニーズに合った商品開発による販路拡大、販売促進などの支援を行います。

■観光産業の振興

久米島町の観光は、久米島町観光振興基本計画に基づく計画的な取り組みにより、長年8万人から9万人台で推移していた観光入込客数が、平成27年度に10万人、平成28年度には11万人を突破しました。平成30年度においても目標とする12万人達成を目指し、久米島観光の知名度、認知度不足の解消を図るためテレビ、WEB等のメディアプロモーションの実施と、チャーター便の誘致継続に取り組みます。

また、平成25年度に策定した観光振興基本計画が最終年度となることから、平成31

年度から5カ年間の「第2次観光振興基本計画」を観光協会及び関係機関と連携を図り計画策定に取り組みます。

■観光市場の傾向が、インターネットの拡充や個人の旅行内容の多様化により団体旅行から家族や友人・知人と出かける個人や小グループ旅行へとシフトが進む中、個人の興味、関心、ニーズにあった新しい旅行プログラムの構築が必要とされています。現状において久米島の自然、歴史・文化など、多くの優れた観光資源が活用されていない状況にあることから、久米島の魅力を伝えられる民泊を含めた体験型観光などを推進し、観光産業の振興・活性化に繋げるため、久米島の観光振興の担い手である観光協会の組織運営や活動への支援を行います。

スポーツイベントにおいては、久米島マラソンが30回記念大会を迎えることから、記念大会に相応しい大会の企画・運営に取り組みます。また、

プロ・アマ野球等のキャンプ・合宿の継続及び誘致についても、関係団体と連携を図り取り組みます。

■交通の確保

離島を結ぶ航路及び航空路は、住民や交流人口にとって重要な交通手段であり、物流、観光及び産業活動に欠くことのできない大きな役割を果たしています。特に、航空路線は利用度の高い交通手段であり、定期路線の維持・確保及びジェット便の増便等、輸送体制の拡充、利便性の向上について、引き続き要請してまいります。また、沖縄県が那覇⇨久米島間の航空運賃の低減による交流人口の拡大、地域の活性化を目的とした「球美の島交流促進事業」の平成30年度以降の事業継続と更なる運賃低減を図るため、沖縄県と連携し取り組みます。

フェリー「ニューくめしま」は老朽化が著しく、代替船の建造が始まりますが、航路事業者による造船は用船料が

教育・文化の振興

■学校教育の充実

学校教育に求められるのは、変動の激しい21世紀を力強く、逞しく生き抜く「生きる力」を全ての子ども達に育むことにあります。「生きる力」を育むとは、「知・徳・体」調和のと

れた子どもの育成だと考えます。その中でも教育委員会では、本町の教育の大きな課題である『学力の向上』を基軸として、子ども達一人一人に確かな学力を身に付けるような取り組みを推進します。

学力向上の取り組みとして、小学校6年生と中学校3年生を対象に実施する全国学力学習状況調査の結果において、小学校では昨年度も国語、算数を合わせた総合正答率で目標である全国平均を維持することができました。今年度は、その結果を上回るような取り組みを行うことができると期待しています。中学校においても全国との差が縮まってきており、国語、数学を合わせた総合正答率で県平均を超えることを目標に取り組みます。

これらの目標を実現するためにも、全小中学校で具体的に実践的な助言のできる専門家を招聘し、教師の授業力の向上のための研修会を実施します。また、基礎学力向上学

習支援員を、今年度も小学校3名、中学校の2校にそれぞれ2名、合計7名配置し、基礎的な学力の定着を図ります。

さらに、平成28年度2中学にデジタル教科書及びタブレットなどを整備しましたが、今年度から小学校にもタブレット型パソコン等を段階的に整備しICT機器を積極的に活用した学力向上を推進します。

教育活動の中では、人、自然、伝統文化など、地域の豊かな教育資源を活用することにより、久米島の良さを知り、ふるさとに誇りを持てる

ような子ども達の育成に努めます。

■生涯学習の振興

幼稚園においては、仲里幼稚園と清水幼稚園の2園に統廃合され、園児数のバランス格差に起因する保育内容や安全面などに対する課題の解決が図られつつあります。今年度も、安全で充実した保育が実施できるようきめ細かな支援を推進します。また、預かり保育については、仲里幼稚園、清水幼稚園において、これまで通りその充実に努めます。

生涯学習の充実を図るため、ヤングフェスティバルや新春書道展、また各種講座・体験活動事業等を開き、幼児から高齢者に至るまで町民が生き生きと学習活動ができるよう支援します。

また、念願である図書館建設については、町民の「学びの拠点」を念頭に置きつつ「第2次久米島町総合計画」

の策定にあたり町民より寄せられた声を十分反映させた施設になるよう整備に取り組みます。

さらに交流事業として、新潟県十日町とのなかさと交流、佐賀市との中学生交流、海外ホームステイ事業を継続実施し、児童・生徒の視野を広めるとともに将来の久米島を担う人材育成に取り組みます。

社会体育については、町民の健康・体力増進を図るため、久米島町体育協会などの関係団体と連携を図りながら町民運動会や水泳教室などの各種体育行事を実施します。また久米島中体連行事としても実施されている伝統競技の沖縄角力の保存、継承を図るため沖縄角力協会久米島支部と連携を図ります。

■文化の振興

昨年度、既存の文化協会、民俗芸能保存会及び古典民謡実行委員会が一つにまとまり、新たな文化協会が誕生し

ました。今後の文化振興については、新しく生まれ変わった文化協会との連携を図りながら、文化の充実発展に努めてまいります。また、新春書道展の開催についても引き続き支援してまいります。

文化財については、具志川城跡保存修理工事と城跡の保存活用に向けた策定事業に着手します。博物館については、経費節減及び快適な展示環境作りを目的に、空調機器の更新と館内照明のLED化への取り組みを推進するとともに引き続き、企画展、特別展、講演会、イベントの開催等で久米島の歴史・文化の発信に取り組みます。

ホタル館については、希少種等の保護調査や児童生徒への環境学習の場、観光客に対する自然学習体験施設としての効果的な利活用を図ります。

■学校給食

児童・生徒が食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけることができるよ

う、積極的に食育の推進に取り組むとともに、「安全・安心・美味しい給食」の提供に努めます。また、地産地消の拡大に向けて関係機関と連携を図りながら、地元産の食材を学校給食に活用できるように取り組みます。

■久米島高校魅力化

久米島高校の魅力化事業の一つとして、島外からの留学生を受け入れています。久米島町地域支援交流学習センター（通称「じんぶん館」）には現在23名が入寮しており、新年度は10名を受け入れる予定です。離島留学生と地元生徒及び地域との交流を通じて、お互いに刺激し合う環境が整い相乗効果が期待されます。

また町営塾である「久米島学習センター」では、生徒一人一人の目標や進路実現のためのきめ細やかな学習指導と社会人基礎力を身に付けるためゼミ形式の学習を取り入れております。ここに通う生徒一

図書館イメージ図





また出産や難病等の治療で沖縄本島の医療機関に通院する場合の経済的負担軽減対策の一環として、安く長期滞在のできる宿泊施設の整備を継続要請してまいります。

一人がじんぶんを身に付け、世の中に羽ばたいていけるよう今後もサポートしてまいります。

福祉の充実

町民福祉につきましては、保健・医療・福祉サービスの連携による地域福祉の充実に努め、すべての町民が安心して健やかに暮らせる福祉のまちづくりに積極的に取り組むとともに食料品や生活必需品など買い物に困っている地域で実施している「移動販売車」による買い物支援についても引き続き取り組んでまいります。

母子保健・児童福祉

子ども・子育て支援事業計画に基づき、引き続き「安心して子育てができる島の実現」のために、子ども・子育て支援施策を推進します。

保育園につきましては、定員受皿の確保や待機児童解消を図るためには保育士確保が急務であるが、その確保は難しい状況にあります。この状況を解消するため、人材育成を行うことを促す仕組みが必要であり、保育士の安定的な確保・定着のために環境整備に努めます。

子育て支援として、子ども医療費助成制度により医療

機関の窓口で直接助成を受けられる現物給付方式導入に取り組めます。また、ファミリーサポートセンター開設に向けた取り組みを図ります。

子育て家庭の養育力及び地域での子育て支援機能の低下など、子どもの育ちや子育てをめぐる社会的、経済的な環境変化があります。そこで、子どもの環境動向把握の観点から子育て世帯の経済状況、生活状況、子どもへの影響、支援ニーズ等について調査・分析を行います。

児童の虐待の対応として関係機関の取り組みについて情報交換を行い、児童虐待に関する現状や町の取り組みについても情報共有に努めます。

また、専門性の強化を図るため、児童福祉司任用研修をはじめ各種研修会の受講にも努めます。

健康づくり

町民の健康状態を改善する取り組みとして実施している健康増進施設「SMAP」

(スマップ)を中心に運動習慣の定着を図るため、個人はもちろん町内の事業所と連携して内容を充実させ利用者を増やすよう取り組めます。

子ども健診の実施及び事後経過観察を学校と連携して対象者を支援し健診異常率の改善を図ります。

また本町では糖尿病が深刻な健康課題となっている状況であり、長年の生活習慣の積み重ねにより発症するケースが一般的であります。本町では若年層で発症するケースもあり早世による人口減少の二因にもなっており、町民の体質的にインスリンの分泌量が本土から来た住民に比べて多い傾向にあるといった調査結果も出てくることから、離島特有の本土とは遺伝学的に異なる特徴的な体質等を分析し有効な方策を導き出すことを目的とした健康増進事業を実施します。

高齢者福祉

本町でも高齢化率の伸び業としては、比嘉2号線道路改良工事の整備を進めます。宇江城城址線、儀間1号線及び嘉手刈牛代線の調査設計・概略設計を実施し新規採択に向け取り組めます。

老朽化が進んでいる道路につきましては道路施設老朽化対策点検調査の結果に基づき補修・改修の実施に向け重点計画の策定に取り組むとともに、未整備道路の整備にも鋭意取り組めます。橋梁等についても点検・詳細調査及び補修を実施し長寿命化に努めていきます。

農業基盤整備

継続事業である農業基盤整備促進事業により、農道及び排水路の生産基盤整備を進めます。農業水利施設保全合理化事業では、地下埋設型となつている減圧弁を地上型に改修し、安全施設整備として沈砂地フェンス等の設置・改修等で農業水利施設を整備する事により維持管理の負担軽減や水管理の省力化、安

と共に单身や夫婦のみの高齢者世帯が増加傾向にあり、それに伴い認知症の高齢者も増加してきており、今後も増加が見込まれます。多様化する高齢者のニーズにこたえるためにも地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組み強化が必要となっており、国の基本指針に基づき介護予防訪問介護、介護予防通所介護の総合事業への移行などの取り組みを強化しながら、認知症対策及び在宅医療・介護連携推進事業及び成年後見制度推進事業に取り組めます。

障害者福祉

地域における障害のある人の社会参加の機会の確保や、自立した生活が送れるような共生社会の実現が求められています。引き続き「障害者基幹相談支援センター」や「就労継続支援(B型)」事業所との連携により障害者の自立支援及び成年後見制度推進事業に取り組めます。また、本町では障害者に対する居住系サ-

ビスの不足から島外でのサービス利用を余儀なくされている状況にあることから、島内でのサービス利用が出来るような支援を図ります。

生活困窮者対策

生活困窮者等への支援としては困窮者の自立促進を目的に、社会福祉協議会と連携し就労支援等に取り組めます。

環境保全と地域美化

久米島の豊かな自然環境の保全に努めるとともに、快適で潤いのある生活環境の整備を推進します。

ゴミ対策

ゴミのない島づくりのためには住民の意識改革が最も必要です。ごみの分け方、出し方に対する住民意識の啓発やリサイクルシステムの構築を積極的に取り組み、ゴミ分別を徹底的に行うよう指導強化します。また、ポイ捨てや不法投棄は依然として見受けられ、特に廃棄家電の投棄が目立つ状況にあります。

環境美化・赤土流出対策

住みよい環境づくりのため、地域住民・ボランティア団体に草花の苗を提供し花づくりに取り組みやすい環境を構築し緑化推進の意識向上を図ります。町道や公園、観光地施設等については、継続して除草や草花を植えて快適な生活環境づくりに取り組めます。また、赤土流出については、農地からの流出が依然として続

不法投棄対策

不法投棄に関しては、引き続き不法投棄監視員を配置し監視するとともに役場、区長会、警察が連携した対応に努めます。

漂着ゴミは、ボランティアによる除去活動を推進するとともに、沖縄県海岸漂着物地域対策推進事業を活用し漂着物を回収、調査、環境教育活動に向けて取り組めます。

ゴミ処理施設については、既存の焼却施設が耐用年数を迎えることから施設の更新に向けて整備計画に取り組めます。

生活基盤の整備

町民の生活・福祉の向上及び産業振興の基盤となる町道、農道、漁港などの整備を積極的に進めると同時に県で実施している県道整備、港湾整備、河川整備、かんがい排水及び水質保全事業についても積極的に取り組めます。また、安心して使える水を確保・供給するとともに環境に配慮した上下水道整備を推進してまいります。

町道整備

平成20年度より事業開始した久米島縦断線道路改良工事及び平成23年度より事業開始した大原下線道路改良工事が平成29年度に整備が完了致しました。今年度事

町道整備

平成20年度より事業開始した久米島縦断線道路改良工事及び平成23年度より事業開始した大原下線道路改良工事が平成29年度に整備が完了致しました。今年度事

平成20年度より事業開始した久米島縦断線道路改良工事及び平成23年度より事業開始した大原下線道路改良工事が平成29年度に整備が完了致しました。今年度事

離島割引運賃 フェリー片道も対象に!

平成30年4月1日乗船分から、久米島⇄那覇のフェリー片道運賃についても、離島住民割引運賃対象になりました。割引分の還付がありますので、あじま～館内「商工観光課」で還付申請の手続きを行ってください。

■還付手続き手順

1. フェリー乗船券を購入(久米商船の窓口)
※必ず専用の領収書を発行してもらってください。
後日、再発行はできないそうです。
2. フェリーへ乗船
3. 還付手続き
※あじま～館内「商工観光課」で必要書類を提出してください。
4. 指定口座へ還付金が振り込まれます。

【船(フェリー)片道運賃(久米島-那覇)還付金額表】

運賃種別	片道運賃	還付金額
大人	3,390円	770円
小人	1,700円	615円

■還付金の申請方法

【手続きに必要なもの】

- ・フェリー運賃の領収書(原本)
- ・離島住民カード(※1)
- ・印かん
- ・還付金を振り込む口座の通帳写し

◇還付専用領収書は再発行できませんので紛失しないよう、十分ご注意ください。

【受付場所】商工観光課(あじま～館)

【受付時間】8:30～17:15

■お問い合わせ

船片道運賃の還付に関すること
商工観光課 ☎851-9162



沖縄県の離島地区情報通信基盤整備推進事業の完了により離島地域の通信環境

情報通信基盤 利活用の推進

火葬から告別式までの一連の葬儀を執り行うことが出来る火葬場と葬祭場を併設した施設が整備されました。今後も、施設の適正な管理運営に取り組み更なる安心した生活環境の提供に努めます。また、墓地公園の整備により墓地の集約化を図り、永代供養型納骨堂の建設整備をする事により墓地の確保、景観の配慮ができるものと考えていますので、早期実現に向け事業導入に取り組みます。

下水道事業は、銭田地区の下水道整備を図るとともに接続率の向上に向けて取り組みます。上下水道使用料収納率向上についても、引き続き収納強化を図ります。

■火葬場、葬祭場、墓地公園の新設

が大幅に強化されたことで情報利活用の利便性向上が期待されます。インターネットを介した子どもたちの遠隔授業や都市部の企業を対象としたサテライトオフィスの整備、利活用計画の策定及びビコワーキングスペースの利活用などを推進します。

再生可能エネルギーの普及・啓発

自然環境への負荷軽減、自然エネルギー等の次世代新産業育成など、持続可能な地域づくりを目的に、沖縄県が実施する海洋温度差発電の実用化に向けた環境を整えながら太陽光、風力などの再生可能エネルギーを組み合わせた島内エネルギー自給率の向上を目指します。今年度は自給率の目標を定めるなど町民・企業の皆様と協働で計画策定を行います。また自動車についても自然エネルギーを動力源とするEV導入と観光産業等での活用をメーカーの

消防・防災

各種災害への予防及び被害の軽減に努め、町民の生命・身体・財産を守るため日々の訓練を積み重ね消防力の充実・強化に取り組みます。また平成29年度に改定された久米島町地域防災計画及び職員初動マニュアルに明記された組織体制を踏まえて、災害対策上の役割分担と災害対策本部業務分掌を明確にし、初動期対応の流れをより実効性のあるものとし、復雑多様化する災害に対応するため消防学校等への消防職員、団員の研修訓練を実施するとともに、今後東日本大震災を上回る被害が想定される南海トラフ地震等、大規模災害に備え、緊急消防援助隊の登録を行い久米島町における大規模災害発生時の受援、応援態勢を確立してまいります。

救急業務

救急業務につきましては、救命率の向上、傷病者の負担軽減など質の高い救急医療を住民に提供するため、計画的に病院実習や追加講習を実施し救急隊員の技術向上に取り組みます。また応急手当の普及活動においても、過去に住民によるAEDを活用しての応急処置を施した救命効果事例がありました。本年度も引き続き、町民及び事業所などへ応急手当普及啓発を推進します。

火災予防

住宅火災による死傷者等を未然に防ぐ目的で設置指導を行っている住宅用火災警報器の設置率の向上及び適切な維持管理を推進します。また、ホテル、民宿等の防火対象物が安心安全に利用できるよう立入査察を強化し、違反は正の強化を図ります。地域の防災力を高めるため

火災予防

住宅火災による死傷者等を未然に防ぐ目的で設置指導を行っている住宅用火災警報器の設置率の向上及び適切な維持管理を推進します。また、ホテル、民宿等の防火対象物が安心安全に利用できるよう立入査察を強化し、違反は正の強化を図ります。地域の防災力を高めるため

防災体制の強化

過去の大災害では、情報の収集や発信が災害被害の大きさを左右したと言われるほど、災害時の情報伝達は重要です。防災施設の整備による災害に強い町づくりを推進するとともに、災害時における迅速かつ効果的な情報伝達の確保をめざし、全国瞬時警報システム(J-ALERT)の更新と併せて、防災行政無線だけではなく、FM放送への自動接続を行い多様な災害時通信手段を活用し、町民や来島者への災害時の情報収集・伝達・発信体制強化に取り組みます。

国民健康保険税の減免申請について

次のような事情で生活が著しく困難になり、保険税を納めることができないときは、申請により国民健康保険税の減免を受けられることがあります。滞納になる前にお早めにご相談ください。
※条件に該当していても審査により減免できない場合があります。

事由	必要書類
震災、風災害、火災その他これらに類する災害により、家屋又は家財に重大な損害を受けたとき	り災証明書、印鑑
災害のため、農作物による収入が著しく減少したとき	収入減少が証明できる書類、印鑑
事業もしくは業務の休廃等により所得が著しく減少したとき	休業・廃業届の写し、雇用保険受給資格者証明書等収入と必要経費の確認できる書類、印鑑
長期の疾病又は負傷により所得が著しく減少したとき	医師の診断書、又は入院を証明できるもの等、印鑑
65歳以上のみの世帯で著しく収入が減少したとき	収入減少が証明できる書類、印鑑
他の者を扶養している者で著しく収入が減少したとき	収入減少が証明できる書類、印鑑
債務返済等のため居住用財産(住んでいた家)を譲渡したとき	売買の証明できるもの、返済を証明できるもの、印鑑
刑事施設、労役場その他これらに準ずる施設に拘禁されたとき	在監証明等の拘禁されていることを確認できる書類

お問合せ 役場 福祉課 保険・年金班 ☎985-7124



岡山から届いた“春”
「桃の花」贈呈

JTA久米島支店は2月26日・27日に、町をはじめ島内16カ所に「桃の花」を贈呈しました。これは、岡山＝那覇線を就航しているJTAが平成8年より毎年行っているもの。西大寺観光協会の協力により、瀬戸内に春を告げる岡山県の県花「桃の花」を沖縄県内各地へ届けています。島内の観光施設や小学校等に贈呈され、各施設等にて華やかな可憐なピンクの花をつけ、人々の目を楽しませました。

久米島の美味を使って創作料理
くるまえばい丼グランプリ

2月13日、具志川改善センターにてくるまえばい丼グランプリ、車海老調理講演会が開催されました。講演会では東京八丁堀「天ぶら小野」の2代目店主の志村幸一郎氏による「久米島車海老の価値」、日本ソルトコーディネーター協会代表理事の青山志穂氏による「車海老にあった塩の使い方」と題し講話。丼グランプリには4店舗が出品、ホテル部門は久米アイランド、飲食店部門では南島食楽園がそれぞれグランプリに輝きました。



キャリア教育の充実を!

2月27日、西中学校体育館で「夢と学力向上を両立する本当のキャリア教育とは～キャリア教育の誤解を解く～」と題し、長田徹氏を講師に迎えて教育講演会が行われました。キャリア教育の充実による学習意欲の喚起や、発達段階に応じたベクトルの伸ばし方などについて、事例やデータをもとに解説がありました。講演会には、保護者や教員ら約50名が参加し、キャリア教育の真の意味、意義を学びました。



離島だからできる地域福祉
精神医療とバスを学ぶ in 沖縄

2月10日、沖縄県立精和病院にて、町包括支援センターの新垣菜見子さん(精神保健福祉士)が「長期入院者の退院支援～地域定着をめざした地域連携～」の実践報告を行いました。「“離島だからこそできる顔の見える連携、地域性を生かした支援、柔軟に受け入れ・対応ができる地活の強み”を、最大限に活用して支援を行っています」といった力強い発表に、多くの参加者から拍手が沸き起こりました。



サンゴの海を知ろう
さんごの海フェスタin久米島

2月25日、具志川改善センターで「さんごの海フェスタin 久米島」(主催:沖縄県)が行われました。久米島海を守る会(代表:田場俊之氏)がサンゴ礁保全再生地域モデル事業の活動報告や、つちや先生のさんご教室などが行われました。また、会場内では、サンゴに関する展示のほか、サンゴマグネットづくり体験コーナーなどが設置されました。ステージの最後は、県サンゴ礁保全再生応援ソング「1、2、サンゴー!」を歌う「きいやま商店」の音楽ライブがあり、大盛況となりました。



電気をおこしてみよう!
エネルギー教室

沖縄ハワイクリーンエネルギー協力推進事業の一環で、2月23日に仲里小学校と大岳小学校の5年生を対象にエネルギー教室が行われました。琉球大学の清水洋一教授による、電気のしくみや省エネについての講義のあと、発電・省エネ体験ラリーが行われました。風力や火力、手回し発電や自転車発電などで電球にエネルギーを送り点灯させました。また、白熱灯とLEDでのエネルギー量の違いを体感しました。



長い間、パンの製造ありがとう
丸高製パンに感謝状

2月13日、丸高製パン工場(代表者:高里盛清氏)へ久米島町教育委員会(教育長:吉野剛)、久米島学校給食センター運営委員会(委員長:山里昌樹)より感謝状が贈られました。丸高製パン工場は昭和51年6月より学校給食用のパンの製造を行ってききましたが、平成29年3月でその製造を終了しました。これまで永年にわたり、児童・生徒のために、おいしいパンの製造ありがとうございました。



地域行事のさらなる発展を目指して
コミュニティ助成事業

(財)自治総合センターでは、全国自治宝くじの社会貢献広報事業として、コミュニティ活動を推進し、住民福祉の向上を図るため「コミュニティ助成事業」を実施しています。久米島町では平成29年度、この事業を活用して字比嘉に音響機材(放送機器)一式及び会議用テーブル・イス一式の整備を行いました。字比嘉では今後も地域の伝統文化を次世代に継承するとともに、地域行事を活性化させ地域コミュニティの維持と強化を図ります。



久米島での経験を糧に! 離島留学生卒業報告会

離島留学生として3年前に久米島高校に入学した9人の生徒が、離島留学第2期生として同校を卒業しました。3月2日に行われた報告会では、保護者や里親、教員など関係者が見守る中、3年間過ごした久米島での思い出や今後の目標・抱負について発表しました。河尻紗良さんは「久米島は小さいけど、大きな家族のようだった」と島の人々への感謝を述べ、福林開さんは趣味で撮りためた島の星空や風景を収めた映像を披露し、豊かな自然環境に感謝しました。

また、3年間温かく見守り高校生活をサポートした松本一也さん、厚子さんご夫妻には大田町長より感謝状を授与し、久米島高校の魅力化と発展に深く貢献されたことを称えました。



まちづくりに奮闘 地域おこし協力隊報告会

地域おこし協力隊の活動報告会が、3月13日にじんぶん館で行われました。地域おこし協力隊とは、地方が都市部の人材を受け入れ、地域づくりや活性化を図るための総務省の制度です。本町では現在、19人の隊員が観光、定住促進、教育、地産地消など、それぞれの分野で活動しています。報告を受けた桃原副町長は「町の課題である人口減少の対策として、皆さまの活動が与える影響は大であり、とても心強いものです。一緒になって地域活性化へ取り組んでいきましょう。」と激励しました。



農業委員会だより

農業委員会総会(許認可業務の審議会)が開催されました。町農業委員会では、2月26日仲里庁舎において、平成29年度第11回農業委員会総会を開催し、農業者等から申請のありました案件を審議しました。

- ① 農地法第3条の規定による許可申請→4件
審議の結果許可されました。
- ② 非農地証明願いについて→1件
審議の結果許可されました。
- ③ 農用地利用集積計画(案)に係る決定について→1件
審議の結果許可されました。

平成30年度第1回(4月)
農業委員会総会
開催日→4月25日(水)
許可申請書及び届出書等の
申請締め切り日
4月16日(月)

※農地の利用、貸し借り、転用等については、各地区の農業委員・農地利用最適化推進委員にご相談ください。

お問合せ | 久米島町農業委員会 | ☎985-7134 |



移住・定住相談窓口「島ぐらしコンシェルジュ」の活動報告

島コンたいむす

おさらい!「島コン」ってなんだっけ?

「島コン」とは「島ぐらしコンシェルジュ」の略称で、久米島に現在住んでいる方や、これから住みたい・移住したいと考えているの方のための島ぐらしに関する総合相談窓口です!
※「コンシェルジュ」とはもともとホテルでお客様のあらゆる要望に応え、案内する“総合世話係”の意味。

どんなメンバーがいるの?

石坂: 埼玉県出身。アウトドアが好き。
岩崎: 宮城県出身。バーデハウスが好き。
上江洲: 沖縄本島出身。父親は久米島出身。
それぞれ出身、経歴の違う個性豊かなメンバー3人が日々話し合いながら活動しています!



何がきっかけで発足したの?



平成27年度に久米島町が策定した「第二次久米島町総合計画」の中の施策の1つ「移住定住促進体制の充実」に取り組むため2016年5月に発足しました。
「総合計画」とは自治体の10年間の目標を定めたもので、今回の第二次総合計画は2025年までの計画となっています。

何をしているの?

島のいろいろ情報収集

求人情報、空き家情報、習い事情報、その他暮らし情報など、島ぐらしに役立つ情報を集めています! 情報提供もお待ちしています!

島外へ情報発信&PR

運営ホームページ「島ぐらしガイド」やSNS (Facebook, Instagram, Twitter) で島ぐらしに関する情報を発信しています!

移住そしてUターン者を誘う

県外都心部で行われる移住フェアへの出展や、電話・メール・テレビ電話での移住相談を行なっています!

より良いまちづくり・定住の推進

住み続けられる島を目指し、住民・役場・議会と一緒に、より良いまちづくりを目指す活動「久米島 ドリー部チャレンジ」に参加しています!

ラジオで「島コン」「ドリー部チャレンジ」の活動を聴いてね☆



島コンとドリー部チャレンジは、毎週ラジオで活動報告をしています。ぜひお聞きください!

【島コンラジオ「久米島 人口減ってるってよ〜」】
■放送日時: 毎週水曜日 12時~12時30分
■放送局: FMくめじま (89.7MHz)

【久米島 ドリー部チャレンジラジオ】
■放送日時: 毎週木曜日 13時~13時30分
■放送局: FMくめじま (89.7MHz)

お問合せ

企画財政課 移住定住相談窓口「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」

HP: <http://www.shimagurashi.net> 「久米島 島ぐらしガイド」で検索
活動場所: 仲原家(久米島町字真謝20) / 毎週火~土 10時~16時 / 日月祝休み
Tel/Fax: 098-894-6488 Mail: info@shimagurashi.net
Facebook: 「久米島 島ぐらしコンシェルジュ」 Instagram: 「kumejima_shimagurashi」



もうすぐ活動3年目!!
「島コン」の現在の活動をまとめた「活動報告」をHPに掲載中です!
仲原家では紙版も配布しております。ぜひご覧ください!



おしらせ Kume Info

■お知らせ「Kume Info」は、ホームページ、FMラジオでもお伝えしています。
久米島町役場ホームページ: <http://www.town.kumejima.okinawa.jp>
FMラジオ[89.7MHz]: ラジオ広報ハイサイくめじま 放送時間: 平日午前10時~11時・午後5時~6時(再放送)

2018 4/1 ~ 2018 5/8 の主な日程

1 日	・海開き祈願祭(シンリ浜・イーフビーチ)
2 月	・区長会
8 日	・ハテの浜クリーンアップ(申込制) ・海開きイベント(ビーチテニス)
9 月	・小中学校1学期始業式 ・久米島高校入学式
10 火	・小中学校入学式
11 水	・幼稚園入園式
15 日	・集落外清掃
18 水	・にっぽん丸入港
19 木	・認知症カフェ(13:30~/家福み一家イーフ事業所)
22 日	・町長選挙日
25 水	・農業委員会総会
27 金	・メーデー
28 土	・久米島ホテルまつり
29 日	昭和の日
30 月	振替休日
5 月	
1 火	・区長会
3 木	憲法記念日
4 金	みどりの日
5 土	こどもの日
8 火	グーヤーの日

選挙

■久米島町長選挙投票日について

任期満了に伴い、久米島町長選挙が行われます。私たちの未来は、私たちの1票によって築かれます。棄権することなく、必ず投票しましょう。

告示日 4月17日(火)
投票日 4月22日(日)
開合せ 町選挙管理委員会
☎985-7121

イベント

■にっぽん丸寄港 特別物産展

3年目となるクルーズ客船「にっぽん丸」の寄港に伴い物産展を開催します。町民の皆様もぜひご利用ください。

期日 4月18日(水)
時間 正午~午後5時
場所 イーフ情報プラザ

お知らせ

■公共下水道への接続のお願い

公共下水道は、清潔で快適な生活環境や川や海の水質保全のために欠かすことができません。

■久米島ホテルまつり

期日 4月28日(土)
時間 午後3時~
場所 じんじんロード
開合せ 久米島ホテル館
☎896-7100

■町商工観光課

☎851-9162

寄附

ご芳志ありがとうございます。
■久米島町教育英会へ
安里幸子様(字比嘉)より
故 安里辰徳 様の香典返しとして
50万円

接続工事について

●接続工事について
くみ取り式便所や浄化槽を改造して下水道に接続する排水接続工事は、住民の皆様が費用を負担して行う工事となります。

町では排水設備工事のための手助けとして、改造資金の貸付を無利子で行っています。また、公共下水道接続後、5年間は下水道料金を免除します。(新築を除く)

また、町では「久米島町排水設備指定工事店」を定めています。指定工事店以外で排水設備工事を行うと無資格工事となり、やり直しや罰則が発生します。ご注意ください。

貸付制度、指定工事店について詳しくは左記へお問合せください。
開合せ 町上下水道課 下水道班
☎985-2066

後世に伝えたい「久米島紬」の技法を身につけませんか? 平成30年度 後継者育成 研修生募集

- 【応募条件】①久米島町に居住する方
②研修終了後は紬組合員に加入すること
③研修終了後、久米島町に在住し、久米島紬の制作に携われる方
- 【申込締切】平成30年 5月15日(火)
- 【面接日】書類審査後、個別に通知
- 【お問合せ先】久米島紬事業協同組合 ☎985-8333
- 【申込場所】久米島紬事業協同組合 (ユイマール館内)
- 【定員】6名
- 【提出書類】①久米島紬後継者育成事業研修申込書 ※紬組合に備え付けてあります。
②住民票 ③写真1枚(3.5×3cm)



くめスポ kumeSpo

パークゴルフでつむぐ交流文化

2月24日「第6回久米島町長杯第4回JAL・JTAカップパークゴルフ大会」が開催されました。今大会は200人がエントリーし、熱い闘いが繰り広げられました。

優勝者には、久米島-北海道往復航空券が贈られました。



【上位入賞者】

●男子の部			●女子の部		
1. 喜久里 強 (久米島町)	スコア	96	1. 長谷川 光 江 (千葉県)	スコア	104
2. 大 宮 泉 (久米島町)	スコア	96	2. 宇南山 優 子 (北海道)	スコア	105
3. 糸 数 聡 (久米島町)	スコア	102	3. 宮 城 留津子 (久米島町)	スコア	106

優雅な走りを競う「ンマハラシー」



2月11日、第16回『琉球競馬ンマハラシー』が沖縄こどもの国において開催され、久米島から子ども達と馬4頭が出場しました。ンマハラシーは70年ぶりに復活を遂げてから、もうすぐ5年になります。

今回は中央競馬会の元トップ騎手である岡部幸雄氏が茨城から北海道和種馬を連れて参戦。大いに盛り上がりを見せる中、久米島から出場した人馬が2回戦でこの馬を退けるという快挙を成し遂げました。その後、順調に馬たちは勝ち上がりましたが、大会常連の馬たちに敗れ、惜しくも入賞は逃しましたが、堂々と走り切りました。

那覇地区 ミニバスケットボール久米島交流大会

2月24日~25日、平成29年度那覇地区ミニバスケットボール久米島交流大会が開催されました。今年で26回目となる大会には、那覇地区から男女計12チームが参加。島内の小学校を合わせて、全17チームで対戦しました。また、久米島の選抜と那覇地区の選抜が対戦する試合は、学校の枠を越えた交流でバスケットボールを楽しみました。



「ホテルカップ2018」久米島町ミニバスケットボール大会

3月10日、ホテルカップ2018久米島町ミニバスケットボール大会が大岳小学校体育館で開催され島内5チームが参加しました。6年生にとっては、ミニバスケ最後の大会でもあり、多くの父母が応援にかけつけました。

大会結果 優勝/仲里男子
準優勝/大岳(混成)